



思いやり駐車スペースをご用意しておりますが
数に限りがございます。
駐車場係にお声がけください。

会場／安曇野市豊科公民館
長野県安曇野市豊科4289-1
TEL.0263-72-2158

※ハーモニックコンサートは、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの創立10周年を記念して1980年から毎年1回開催しているクラシック音楽のコンサートです。2017年5月27日開催の第34回目を協賛。2018年6月2日開催の第35回目より当財団で主催しております。

Bariton (バリトン)



吉江 忠男

Klavier (ピアノ)



森田 基子

第39回ハーモニックコンサート Harmonic Concert

吉江 忠男・森田 基子

2025年5月24日(土) 開場 16時30分
開演 17時00分

会場／安曇野市豊科公民館

入場料／¥1,000

入場料は全額、安曇野市へ学校図書費として寄付します

チケット販売

場所	▶ 安曇野市豊科公民館 ▶ 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 穂高工場(総務部・警備室) 長野県安曇野市穂高牧1856-1
期間	コンサート前日の17:00まで 《但し、チケットに余裕がある場合は当日15:00から会場正面玄関で販売します。》
時間	平日の9:00~17:00

主催：公益財団法人 **ハーモニック伊藤財団** <https://www.harmonicito-f.or.jp/>

協賛：**株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ** <https://www.hds.co.jp/>

後援：安曇野市教育委員会・HDS調和会

Program

冬の旅 Winterreise D911 全24曲

F.シューベルト 作曲
Franz Schubert (1797-1828)

W.ミュラー 作詩
Wilhelm Müller (1794-1827)

- | | | |
|----|-------|-----------------|
| 1 | おやすみ | Gute Nacht |
| 2 | 風見鶏 | Die Wetterfahne |
| 3 | 凍れる涙 | Gefrorne Tränen |
| 4 | かじかみ | Erstarrung |
| 5 | 菩提樹 | Der Lindenbaum |
| 6 | 溢れる涙 | Wasserfult |
| 7 | 川の上にて | Auf dem Flusse |
| 8 | 回想 | Rückblick |
| 9 | 鬼火 | Irrlicht |
| 10 | 休息 | Rast |
| 11 | 春の夢 | Frühlingstraum |
| 12 | 孤独 | Einsamkeit |

— 休 憩 —

- | | | |
|----|-------|-----------------------|
| 13 | 郵便馬車 | Die Post |
| 14 | 霜おく髪 | Der greise Kopf |
| 15 | からす | Die Krähe |
| 16 | 最後の希望 | Letzte Hoffnung |
| 17 | 村にて | Im Dorfe |
| 18 | 嵐の朝 | Der stürmische Morgen |
| 19 | まぼろし | Täuschung |
| 20 | 道しるべ | Der Wegweiser |
| 21 | 宿屋 | Das Wirtshaus |
| 22 | 勇気 | Mut |
| 23 | 幻の太陽 | Die Nebensonnen |
| 24 | 辻音楽師 | Der Leiermann |

Profile



吉江 忠男 Tadao Yoshie

Bariton (バリトン)

長野県岡谷市生まれ。東京藝術大学声楽科卒業。二期会新人賞、外国人評論家クラブ「M.B.C.A.J賞」受賞。同大学院修了後1969年旧西ドイツ政府の給費留学生(DAAD)としてデトモルト北西ドイツ音楽大学へ留学。名門フランクフルト市立歌劇場音楽総監督ドホナーニに認められ、1975年より12年間、歌劇場専属ソロバリトン歌手として活躍。ハンス・ホッター、バヴァロッチェ、カレーラス、クラウス、バンブリーなど錚々たる歌手たちと共演。またヨーロッパ各地で、オーケストラ演奏会や宗教曲の独唱者、音楽祭へ招聘されるなど幅広い分野で活躍。日本では二期会オペラ公演「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「ドン・ジョバンニ」タイトルロール等を演じる。1987年ドイツより帰国。ドイツ歌曲の世界により近い故郷信州を最終活動拠点とし、一意専心歌の奥義を探求。古希を迎え共演した巨匠イェルク・デームスと音楽的共感から深い信頼関係が生まれる。2008年デームスの招聘によりザルツブルク・ミラベル宮殿にてリサイタル共演、2020年サントリーホールにて小林道夫とリサイタル共演、2021年に続き2022年5月ハクジュホールにてフォルテピアニスト平井千絵とシューベルト三大歌曲リサイタル、2022年8月にはピアニスト阪田知樹との共演。83歳を超えた現在、確かなテクニックに支えられたその歌は、柔らかく自然な響きで人の心に届き深淵な音楽の世界へ誘う。

過去の当コンサートでの演奏歴

第8回(1988年)、第11回(1991年)、第26回(2008年)



森田 基子 Motoko Morita

Klavier (ピアノ)

東京音楽大学ピアノ科卒業。イタリアのヴィヴァ・バレンティア国際コンソにて室内楽ディプロマ取得。ソリストとして1996年イオネスク・ガラティ指揮 東京交響楽団とピアノ協奏曲を演奏。その他アンサンブル・ユマニテ、大阪音楽大学オーケストラともピアノ協奏曲を演奏。また室内楽奏者としても活躍しベルリン・フィル元首席オーボエ奏者H.シェレンベルガー《イムジチ》初代コンサートマスターF.アーヨ、フルート奏者の金昌国、NHK交響楽団の諸氏《アンサンブル of トウキョウ》等とリサイタル共演。2002年東京津田ホールにてジョイントリサイタル、2017年森田耕一郎メモリアルコンサートを東京文化会館にて開催。同年、声楽家吉江忠男氏と出会いドイツリートの真髄に触れ感動。以後、共演を重ね薫陶を受ける。「ドイツ文学と音楽の本質を究めるその姿勢と、そこから生まれる演奏は、ドイツリートの陰影に富む自然の中に漂い歌の世界を体現する」と吉江忠男氏より信頼されている。公益社団法人日本演奏家連盟会員